



司祭叙階 プラチナ

ダイヤモンド・金・銀祝

おめでとうございます



プラチナ祝(70周年)を迎えられた司祭



アントニオ・フラデラ・
オディン神父
(クラレチアン宣教会)

1929年1月9日スペイン生まれ。55年5月1日司祭叙階。叙階後、養成担当司祭や小教区で霊的指導など、説教者として評判となる。本会の補佐修練長と、神学校の教師を務めて69年10月日本へ派遣。来日後、旧大阪教区の枚方教会助任司祭、茨木教会、大東教会、門真教会の主任司祭と、長期にわたって教会法における結婚処理担当司祭を務めた。趣味はクラシック音楽(オペラ座の怪人)を聴くこと。Facebookで多くのファン(フォロワー1350人)や友だちとのコミュニケーションと、エレクトーン演奏を楽しんでいます。

このたび、父なる神様のお恵みによって司祭叙階70周年を迎えることにビックリ！ 嬉しい限りです。これまでは、取るに足らないこの私でしたが、いつくしみ深い神様に選ばれ本会の会員として呼びかけられました。日本においても、今までたくさん素敵な出会いに心から感謝しありません。このようなどきだからこそ、改めて本会の創立者である聖アントニオ・マリア・クラレットが生かされたみ言葉を自分のものにして、常に心に留めております。「キリストの愛がわたしたちを駆り立てているからです」(コリント5・14)。これからも、神のみ旨ならば、人生の最後までキリストの愛に燃えて生きていきたいと思っておりますので、皆さま、どうかお祈りで支えてくださいませ。

ダイヤモンド祝(60周年)を迎えられた司祭



アンドレ・コレーン神父
(浄心会)

1941年11月6日ベルギー生まれ。59年浄心会に入会し、65年8月司祭叙階。70年9月来日。東京教区、広島教区、旧大阪教区では堺や姫路などで司牧活動。現在は姫路西ブロックの協力司祭として司牧、また信徒養

成やいくつかの聖書グループの指導を務める。55年前、ほとんどクリスチャンがいない日本に来ました。福音を宣べ伝えること、聖書を教えるということから少しずつ心の対話へと変える歩みになりました。協力司祭として活動する傍ら、聖書の養成講座や、たくさんの方の聖書の分かち合いグループに参加しています。周りの人びとへ「愛のドリーム」と「希望のメッセージ」を分かち合いたいと思います。たくさんの方とのつながりを大切に、ここまで歩んでくることができました。とに本当に感謝します。

金祝(50周年)を迎えられた司祭



トマス・アクイナス
前田万葉枢機卿
(大阪高松教区)

1949年3月3日、長崎県南松浦郡新上五島町仲知生まれ。75年3月19日長崎・浦上教会で叙階。司祭叙階後31年間長崎教区で宣教司牧。2006年4月カトリック中央協議会事務局長。11年9月広島教区司牧。14年9月旧大阪大司教区大司教。18年6月枢機卿親任。23年10月大阪高松大司教区大司教。趣味は海

川漁全般。俳句・短歌。「お言葉ですから網を降ろしてみましょう」(ルカ5・5)が、司祭叙階で選んだ座右の銘。人事異動の命に、「はい！」と答えて従うため。この聖句に私はこの50年救われ生かされ続けてきました。生活の「知恵」でもあると悟ることができました。「不思議だね 生きていくのか 御言葉は 染みる心に 縛るこの身を」の生涯を最後まで続けたと思います。



金祝(50周年)を迎えられた司祭



フランシスコ・マリノ神父
(聖ザベリオ宣教会)

1944年2月10日スペイン生まれ。75年11月8日司祭叙階。80年9月3日来日。旧大阪教区では泉佐野、岬、泉南、甲子園教会で司牧。2年間一時帰国した後、再来日。都城(宮崎)、甲子園教会で司牧後、管区長を4年務め、その後始良(鹿児島)、

藤井寺教会の司牧をする。2019年より本部修道院で静養。幼少期、カルメル会のシスターによって宣教に興味を抱くようになり、小教区で奉仕しつつ、中学卒業後、福音宣教と典礼のグループを立ち上げ仲間と共に熱心に活動した。設計の仕事に就いたが、宣教師になりたいという思いは益々大きくなり、宣教師になる道を選び、日本の美しさを著した本に心打たれ、日本の宣教を志した。神様の恵みとさまざまな出会いで紡いだ友情の絆が今も深く繋がっていることに心から感謝しています。

銀祝(25周年)を迎えられた司祭



ロッコ・ビビアーノ神父
(聖ザベリオ宣教会)

1972年イタリア生まれ。92年に本会入会。96年に初誓願。2000年9月17日に司祭叙階。2000年〜2003年までイギリスで奉仕し、宣教学とキリスト教と宗教間対話に関する修士号を取得。2004年からフイリピンで働き、9年に再びイ

ギリスに派遣。13年に諸宗教対話神学の博士号を取得。14年3月以降、日本で活動。現在、カトリック大阪高松教区の諸宗教対話委員会委員長と、エキュメニズム委員会委員長を務めており、カトリック日本司教協議会の諸宗教部門とエキュメニズム部門の委員でもある。シヨファイユの幼きイエズス修道会(大阪修道院)のチャプレンも務めている。本会では宗教間対話担当、アジア研究所の所長、および管区図書館の館長を務めている。

1970年3月6日長崎県生まれ。2000年3月20日叙階。同年緑ヶ丘教会(名古屋教区)助任司祭。2001年今市教会助任司祭。2年大東教会助任司祭。3年しるきたブロック共同宣教司牧チームメンバー。6年9月インド。7年3月クラレチアン・レジデンス(枚方市)。9年枚方教会協力司祭。



ペトロ梅崎隆一神父
(クラレチアン宣教会)

1968年4月5日北海道札幌市生まれ。2000年3月20日叙階。2001年札幌教区事務局長。4年英知大学大学院在学の傍ら大職員。7年英知大学職員と兼任で大阪梅田ブロック共同宣教司牧。13年香里教会主任、旧大阪大司教区事務局長を兼務。20年より札幌教区へ派遣。21年より札幌教区事務局長と複数小教区の主任を兼務。現在は札幌教区事務局長、札幌東ブロック(全11小教区)主任。趣味はドライブ・映画鑑賞・仕事。司祭を目指したきっかけは、す



アンドレア松村繁彦神父
(大阪高松教区)

銀祝(25周年)を迎えられた司祭

で働いている司祭を支えたいという思いでした。司祭も万能ではないので、欠けたところを自分が補い協力できればというのは今も変わらない思いです。叙階直後から常に能力を超え、自分の思いとは違う働きが要求されてきました。思い通りにはならない司祭生活ですが、不思議なことにそのたびに学ぶ機会や必要な人が現れ、支えと関わりの中で乗り越えられる材料は与えられてきました。神様も皆さんもぎりぎりの処で私を生かしています。残酷なことです(笑)。しかしその道を選んだのであきらめ、あとは喜びを見出し神の義を追求するのみです。現在札幌に派遣され5年が経ちました。札幌教区の諸問題改革などを手掛けながら11の教会を支えています。しかしその派遣も数年で終わるはずですが、皆さまとの再会を期待し、今の務めを果たしたいと思えます。

10年枚方教会助任司祭。15年北摂東ブロック協力司祭。16年本会東京修道院。21年枚方教会協力司祭。23年枚方教会助任司祭。司祭になったら子どもとずっと遊ぶのが夢でしたが、歳を取ったから子どもが寄り付かなくなりました。持っている物を手放す事の大切さを日々学んでいます。

その他
ダイヤモンド祝を迎えられた司祭は、ご本人の希望によりメッセージは辞退されました。

経歴とコメントはご本人からいただきました。

2025年春司祭・司牧者
人事異動(第一次)

2025年2月23日

教区の皆さま



大司教 前田 万葉

キリストの平和

2025年春の司祭・司牧者人事異動を発表いたします。

新しい任地に派遣される神父様方、どうぞよろしくお願いたします。教区外へ異動される司祭・修道者の皆様には、これまで教区のために献身的にお働き下さったことに心から感謝を申し上げます。

人事異動は右記のとおりです。姫路地区から順に地区単位で記載しています。今回は着任日が3月30日と4月27日の2回に分かれていますのでご注意ください。

3月30日付での異動となる神父様は、3月23日(日)からの一週間内に移っていただき、3月30日(日)より新しい教会に着任いただくようお願いいたします。

また、4月27日付で異動となる神父様は、原則として復活祭後の4月20日(日)からの一週間内に移っていただき、4月27日(日)より新しい教会に着任するようにしてください。前任の神父様と相談いただき、支障の無いようお願いいたします。

聖年の歩みの中で、一人ひとりが希望の旅人となるように、自分の信仰に思いを巡らせ、福音を喜び伝えられる人となれますように祈りのうちにお過ごしくください。

以上

*以下、新任地。カッコ()内は前任地など、Bはブロックの意

—3月30日付—

【神戸地区】

- ▶ Fr. 安旻祐(神戸中B 共同)→布施教会・枚岡教会(かわちB)主任
- ▶ Fr. コンニ・コンスタンチン・カランバ C.I.C.M.(教区外)→神戸中B 共同 鈴蘭台教会担当

【北摂地区】

- ▶ Fr. 下瀬智久(吹田教会(北摂東B)助任)→高槻教会・茨木教会 協力

【大阪南地区】

- ▶ Fr. 上田憲(布施教会・枚岡教会(かわちB)主任)→留学(カナダ)

【岸和田地区】

- ▶ Fr. ティアゴ・ダ・コンセイサオ・エステヴァオ・トマス S.M.B.N.(紀泉ブロック 協力)→香川地区 共同

—4月27日付(復活祭後)—

【神戸地区】

- ▶ Fr. 英 隆一郎 S.J.(六甲教会 主任)→教区外
- ▶ Fr. 加藤信也 S.J.(教区外)→六甲教会 主任

【愛媛地区】

- ▶ Fr. フェルナンド・マヨラル I.E.M.E.(新居浜教会・西条教会 担当)→帰国
- ▶ Fr. フランシス・ブーリン O.P.(松山教会 副担当)→新居浜教会・西条教会 担当

【その他】

* コンベンツァル聖フランシスコ修道会
Fr. 内野洋平: 4月1日付で仁川修道院へ異動

カリタスのとサポートセンターより
「被災地とつなぐプロジェクト」のお知らせ
(詳細は随時お届けします)

能登の復活(復興)を心から願って

カリタスのとサポートセンター
住所: 金沢市広坂1-1-54 カトリック金沢教区内
TEL: 070-1220-7495
E-mail: noto_saposen@gmail.com

イースター
被災地ボランティア
大募集!

イースターは、イエス・キリストの復活を祝うキリスト教のもっとも大きな祝祭です。能登半島の復興を祈り、希望を持って前に歩んでいくことを心から願ひながら、カリタスのとサポートセンターでは4日間の被災地ボランティアさんを募集します。皆さまのご参加をお待ちしております。
(なお、フェース期間により、4/14~4/22まで、随時ボランティアはお申し込み可能です)

~募集日程~
4月17日(水)~20日(日) 3泊4日

集合: 4月17日(水)17:30 カリタス七尾バス
解散: 4月20日(日)17:00 カリタス七尾バス

※基本、全日参加をお願いいたします
※申込先着順です。募集多数の場合は、3泊2日でも利用します。

※ボランティア活動内容は随時フェースと随時更新いたします。
※参加にあたっては、登録申請を必ず事前に済ませてください。
※参加当日の朝は、17時教区または協議会の朝礼に参加することとなります(自由参加です)
※参加にあたっては随時フェース同様、宿泊者料金(1泊500円)の徴収と、夕食代(1泊500円)の徴収をお願いいたします。
※この際、領収書、入浴などは各自持ち帰ります。
※募集期間の随時・延滞はできませんので、この場合は各自で宿泊の手配をお願いします。

~申込は Google フォームよりお願いします~
下のQRコードからアクセスしてお申込みください。
※状況などについては、お電話(070-1220-7495)にてお問合せ下さい。

被災地とつなぐ支援プロジェクト

組子 伝統工芸
七尾・田鶴浜
ストラップ

能登半島の中央に位置する七尾市田鶴浜には、およそ70年続く「組子職人」という伝統工芸があります。くぎを使わず組子木を組み合わせる精巧な組子で知られています。その組子職人がご家族といっしょに作られているこのひとつのストラップ。奥さまは、震災前の12月にはじめに、組子の技術を継ぐために被災、組子の職人として復活の力を下すおられる時期で、避難所にはけずり元はアガラスの組子職人の中継ぎをしのぎながら、その後大規模な地震で自宅を避難所もなく、情報が入って来ず不安な日々をしばらく過ごされたそうです。そんな前後の検査や検査が再開のつらさ、思うようにならない自分の公費負担と再建、不安でいっぱい思いのときに、助まじや支えになったのが、支援者(ボランティア)の方だったそうです。復興への思い、ボランティアさんをはじめ支援して下さる皆さまへの感謝をこめて、何よりみなさんの繋がりを思いめぐらせながら、ご家族・ご自身の組子木をひとつひとつ組みあげてくださっています。

この時の結晶にも似た組子ストラップ。組子職人の組子木をご提供ください。

1個1500円(税込・送料別)

※送料別(送料は、民間業者がボランティアセンター(おらちや七尾)への支援金として寄付させていただきます。)

ご注文は1個からお受けいたします。
郵送はレターパックでお送りいたします。
送料は最大10個まで430円で可能です。
(1個でも430円)
お支払いには郵送時同様の郵便振替でお振込みください。
お振込みの申込みは、
右のQRコードより、Google フォームで
必要事項を入力の上ご注文ください。

カリタスのとサポートセンター(金沢教区内)
カリタス七尾バスでも直接お買い求めいただけます!

2025年 キリスト教一致祈禱週間

あなたはこのことを信じるか

ヨハネ 11・26

大阪・神戸・和歌山共同礼拝

キリスト教徒の一致を目指して

今年も大司教区の関西地域で「キリスト教一致祈禱週間」が祝われ、和歌山(1月18日)、大阪(1月23日)、神戸(1月24日)の3カ所共同礼拝が開催された。



回を重ねるごとにキリスト教徒の一致が深まる

このイベントは2018年から、コロナ禍の1回を除いて、毎年、旧カトリック大阪大司教区のエキュメニズム委員会と共に、日本聖公会、日本福音ルーテル教会、日本キリスト教団によって共催されている。それぞれの共同祈禱会は、国際委員会が準備した資料に基づいて、各地域の司祭と牧師で構成されたチームによって準備される。今年も、前田万葉枢機卿が大阪の共同祈禱を共に司式し、和歌山と神戸の祈禱会ではエキュメニズム委員

会の委員長、ロッコ・ビビアーノ神父(筆者)が代理を務めた。合計で150人以上が参加し、私たち大司教区の信徒の中で、キリスト教の一致が重要視されていることが示されている。四国地域でも祈禱会が開催されていることが確認されている。(左記事参照)

これらの共同礼拝が、キリスト教徒が一致を目指して努力しなければ、イエスが弟子たちに託した使命を完全に達成することができないという認識を深める一助となることが期待されている。(文 エキュメニズム委員会委員長 ロッコ・ビビアーノ神父)

第30回 高松市

キリスト教一致祈禱集会を終えて

今年の集いは、カトリック桜町教会と日本基督教団高松教会の2つの会場で行われた。



歌を繰り返しながら祈る

桜町教会では初めての試みとして典礼聖歌ではなく、テゼの歌を採用した。イエス様のイコンを祭壇の前に飾り、蝋燭の灯りを見ながら、パイプオルガンの伴奏に合わせて4曲歌った。参加者はカトリック・プロテスタントを併せて21人だった。テゼの歌は覚えやすく、知っている方もいて、一緒に楽しく歌うことができた。礼拝での説教は、高山徹神父様にお願した。神父様は、「わたしを信じる者は死んでも生きる」と言われたイエス様は、『あなたはこのことを信じ



祭壇前に灯りを並べて

るか』と一人ひとりに問いを突きつけられます。私たちは沈黙で答えることしかできません。希望を失うことなく最善を尽くして、自分の信仰を証ししていきましょう」と私たちを励ましてくださった。復活への信仰を自らに問う恵みの時となった。(文 桜町教会 佐藤悦朗)

枚方教会堅信式

祈りで刻む神のしるし



2月16日(日)、枚方教会で堅信式が行われた。酒井俊弘補佐司教がミサの主司式を行い、共同司式の竹延真治神父、梅崎隆一神父、およそ70人の参列者が見守る中、4人が堅信の秘跡を受けた。



聖霊に導かれ、これからの歩みとともに

日本語とスペイン語で行われた説教の中で、酒井司教は受堅者の額に刻まれる十字の塗油の意味を改めて考えるよう促した。ヨハネ黙示録の最後に「彼らの額には神の名が記されている」とあるが、堅信によって私たちの額にも神の名が記されている。しるしは私たちの罪によって消されてしまいが、このしるしを守っていくことの鍵が「祈る」ことにあると説いた。教会の中、信徒同士で祈るだけでなく、いつでも、どこでも、どんな時も、誰に対しても祈る姿を見せていくこと、他者の為に祈ることによって神の名を世に証しする者としてふさわしい日々を歩むよう励ました。受堅者は3人の神父からそれぞれ学びを受け、堅信式に臨



額にしるす意味

んだ。受堅者の一人は、「これまでミサで聞いてきたさまざまな話の繋がりがわかり、聖書の学びには喜びがあった」と述べた。別の受堅者は「聖書を改めて勉強し直したい」と今後の抱負を語った。ミサ後は茶話会が開催され、共に堅信の恵みを喜び分かち合う時間となった。(文 枚方教会 宣教委員会)



聖堂正面

教会紹介

- ◆ 住所 枚方市岡南町3-1-1
- ◆ 守護 グアダルペの聖母
- ◆ 設立年月日 1953年10月24日
- ◆ 信徒数 1270人
- ◆ ホームページ

◆ 特色

京阪電車枚方駅から徒歩8分にある教会は、パステルブルーの2つの尖塔に十字架がそびえ、その景観は京阪電車の車窓から見え入る。また、メキシコに出現されたグアダルペの聖母を守護聖人とする日本では唯一の教会で、聖堂内にはその複製画があります。そして26聖人の長崎への道の巡礼ルート教会でもあります。主日ミサ後、信徒の交流の場として毎月の第2日曜日はパン・コーヒー(ゆで卵付)第3日曜日はうどん(そば)・コーヒーを提供、癒しと交流の場となっています。

◆ おすすめの店

東海道五十六次の宿場町である枚方は、淀川を行き交う船の中継点としても栄えました。毎月の第2日曜日、京街道は1.5kmにわたり、五六市が開催され、多くのフリーマーケット店が出店、当日はたくさんの人で賑わいます。昨年9月には、枚方市駅と一体となった枚方モールが開業しました。



聞かせてください 神さまと出会った時のこと 「エマオへの道で」

第14回 酒井 淳 神父
(大阪田辺・平野教会)

雲の上の人というイメージで、自分と重なることは全くなかったが、その一言で、神父という道

信徒の皆さんや神父さんや、そのすべてを象徴するかのようなこの聖堂が崩れ、私の信仰も崩れてしまった。しかしその時、それまでの正統な教会というものに支えられた信仰ではなく、そういつたものがなくても成り立つような信仰というものに、切り替えていいのだという気持ちになった。

会が崩れてくれたのだと、そんなふうによく思った。日本において、信仰とは「出会い」だと思ふ。私の「エマオへの道で」の体験とは、黒沼先生との出会いだった。遮られていた私の目の前に、イエスの方から来てくれた最初の人だったと感じている。すべての信者がイエスと出会っている。洗礼を受ける動機となった「出会い」もあつただろうし、エマオの二人がイエスに会って、翻つてエルサレムに戻っていくように、出会った後、私たちはイエスと食卓をともにしながら、数々のイエスとの「出会い」を重ねているのだらう。私は司祭として、この神様が創つた世界に参加させていただいていて、この感覚がある。このような感覚を、教会の中で、形を変えて伝えていきたいと思つている。



イサク三喜田虎太神父 (イエズス会)は、2025年3月8日、老衰のためヨラハウス(東京)で帰天。98歳。長野県出身。1950年8月14日聖公会からカトリックに転籍(松本教会)。54年3月イエズス会入会(長束)。1962年3月18日聖イグナチオ教会で司祭叙階。64、69年広島学院で教師を務める。69、78年松江教会(島根)・宇部教会(山口)の助任、主任司祭。81年下関労働教育センターで司牧活動。84年聖光学院(静岡)倫理・宗教

の教鞭を執る。86年、2000年六甲レジデンスで司牧活動。2001、2005年柳井教会(山口)を担当し、04年山口教会助任司祭を務める。05年、15年宇部小野田ブロックチームメンバー後、小野田老人ホームチャプレンを7年間務める。22年ヨラハウス。

神戸の下山手教会の出身。四代続くカトリックの家に生まれ、1歳の時に洗礼を受ける。神学校に行くまで、ずっと下山手教会で育つ。小さなときから侍者を務め、鐘楼のロープにぶら下がり鐘を鳴らした。聖堂のステンドグラスに陽が差し込み、赤や緑の光が時間とともに動いていくのを今でも覚えて

社会人としての自覚もなかった私は、2年で会社を辞め、大阪写真専門学校に入った。そこで、写真家の黒沼康一先生と出会った。それは運命の出会いだった。黒沼先生は、世界を確認する手段としての写真を撮る、芸術運動のグループのメンバーだった。写真というものを、このような方法論で撮るということを体験した時、自分の、土台のない、不安定な世界が一つになった。

7年後の95年、阪神・淡路大震災が起きた。私が育つた思い出がいつばいの下山手教会、その美しい荘厳なレンガ造りの聖堂が全部崩れてしまった。私の信仰は、この最もカトリックらしい教会というものに支えられた純粋な信仰だった。ところが、あんな美しい、神の国を象徴するかのよう

な、普遍的な教えや教会や

な、普遍的な教えや教会や

地元の小中学校から兵庫県立工業高校の化学科に進学し、就職する。青年期、複雑な気持ちを抱えていた。なぜ、自分と周りの人間はこんなに違うのか。社会にはなぜこんなつらいことがあるのか。教会に通い続けていたが、そこはすでに環境であり、カトリック信者としての自覚もなかった。

私の時代は、神父といえ

私の時代は、神父といえ

私の時代は、神父といえ

私の時代は、神父といえ

私の時代は、神父といえ

大阪のカトリック病院
ガラシア病院

特徴的な医療
ホスピス・糖尿病内科
リハビリ・神経内科
肝臓内科・循環器内科

医療法人ガラシア会
理事長 前田万葉 大司教
チャプレン 松本信愛 神父

〒562-8567
箕面市粟生間谷西 6-14-1
☎072-729-2345

医療法人ガラシア会

ひとりで悩まないで
～私たちに聴かせてください～

カトリック大阪高松大司教区
ハラスメント相談窓口

※委員会はハラスメント全般を視野に入れることになりました。そのため、名称変更します。

電話番号:06-6941-9718

相談窓口受付時間
月・火・金曜日(祝日を除く)
午前10時～午後4時

あなたの悩みを親身になって受け止めます。秘密は必ず守られます。

バチカンニュース

フランシスコ教皇の 四旬節メッセージ

希望の中を共に歩もう



2025年度の「四旬節」を前に、教皇フランシスコのメッセージが発表された。

教皇フランシスコは、2025年度「四旬節」のメッセージを発表された。今年の「四旬節」のメッセージのテーマは、「希望の中を共に歩もう」である。

教皇はこのメッセージで、聖年の恵みで豊かにされたこの四旬節に、「希望のうちに共に歩む」ことの意味を考え、神のいつくしみが、個人そして共同体としてのわたしたちに向ける回心の呼びかけを発見するようにと招いている。

まず、教皇は「歩む」という言葉に関連し、「希望の巡礼者」という聖年のモットーを改めて取り上げた。

このモットーに教皇は『出エジプト記』にある、約束の地へと向かうイスラエルの民の長い旅のストーリーや、悲惨な状況や暴力から逃れ、自分と家族のためにより良い生活を求めて旅立つ今日の多くの兄弟姉妹の姿を重ねている。

わたしたちは皆、人生の巡礼者である。しかし、自分は本当に歩んでいるのか、それとも恐れや絶望の中で麻痺し、静止しているのか、あるいは安楽さに浸っているだけなのかを自問するように教皇は勧めている。

次に「共に」という言葉をめぐり教皇は「共に歩む」とは「シノドス的」であることであり、それは教会の召命である、と強調し「共に歩む」とは、神の子としての共通の尊厳から出発し、一致を紡ぎ出す者となることである、と述べた。

教皇はこの四旬節に、自分たちの生活、家庭、職場、小教区、共同体において、わたしたちが他者と共に歩み、耳を傾け、自分の言い分に立てこもる誘惑に打ち勝っているかを省みるよう助言された。

最後に、教皇は「希望の中を」共に歩むことの大切さを指摘し、聖年の中心的メッセージである「欺くことのない希望」(参照 ローマ5・5)が、復活の勝利へと向かう四旬節の旅路の先に広がることを祈られた。

(バチカンHPより抜粋)

リスナーの方 募集中! 小さきテレジアの会

「大阪高松教区報」を音訳し、データCDに録音して、大阪高松教区の視覚障害者の方々にお送りしています。データCDは、プレストーク・パソコン・MP3対応のCDラジカセで聞くことができます。

音訳というのは、一般に認識されている朗読とは、すこし違います。書かれている内容を正確に、あまり感情をこめすぎずに、ニュースを読むアナウンサーのイメージです。

問合せ 夙川教会小さきテレジアの会
☎ 0798-22-1649
Fax 0798-34-3585
担当: 音訳(デイジー)山口

来、見なさい



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

教区委員会主催

大阪高松大司教区カリタスジャパン◆四旬節黙想会「愛の奉仕」

日時 4/6(日) 9:30(ミサ)10:40(講話)

場所 神戸中央教会
講師 成井大介司教(新潟教区・カリタスジャパン担当司教)

主催 カリタスジャパン
問 兵庫教会 松永 敦神父 ☎078-575-5294

信仰養成連続講座◆カテキズムの第2編「キリスト教の神秘を祝う」

当休中止
主催 使徒職養成委員会
問 ☎06-6941-9700

サクラファミリア主催

間かせてください 神さまと出会った時のこと~エマオへの道で~◆大阪高松教区で働く司祭・修道者ご自身の体験をきく

日時 4/8(火)18:00~19:30 (夜の部)・4/9(水)10:30~12:00(昼の部)
お話 畠 基幸神父 (日生中央教会・御受難修道会)

コレーン神父と学ぶ聖書◆「主日のみ言葉に生かされる」

日時 4/14(月)13:30~15:00 (1~4月開講)

和田幹男神父◆聖書研究講座『主のしもべイエス』

日時 4/23(水) 10:30~12:00

和田幹男神父◆新約聖書ギリシア語(初級)

日時 4/7(月)・4/21(月) 17:00~18:30

祈りのよる◆灯りをかこみ、ともに祈る静かな時間を

日時 4/11(金)19:00~19:30

問 サクラファミリア ☎06-6225-8871
✉f.sacra@ostk.catholic.jp

結婚準備講座

夙川教会

日時 6/7(土)~6/28(土) 16:00~17:30(4回)

参加費 ¥5,000(2名)
問 ☎0798-22-1649

六甲教会

日時 9/7(日)~9/28(日) 14:00~16:00(4回)

参加費 ¥5,000(2名)
問 ☎078-851-2846
✉renraku@rokko-catholic.jp

※事前要問合せ(年2回)

黙想会

宝塚黙想の家

◆日帰り黙想会

日時 4/24(木)・4/25(金) 10:00~15:30
指導 染野治雄神父(4/24) 山内十束神父(4/25)
参加費 ¥3,500

◆一泊黙想会

日時 4/11(金)17:00~4/12(土)15:30
指導 染野治雄神父
参加費 ¥9,000

◆カトリック教会のカテキズム

日時 第1・3(水)10:00~12:00
指導 染野治雄神父
参加費 ¥1,000

◆祈りを深めるための聖書の基本

日時 第1・3(水)10:00~12:00
指導 山内十束神父
参加費 ¥1,000

◆新約聖書の世界への旅

日時 第1(月)19:00~
指導 山内十束神父

問 宝塚黙想の家 ☎0797-84-3111

講座・研修会

講座◆小さくされた人々のための福音

日時 第3(金)10:00
場所 神戸学生青年センター
参加費 ¥1,000
主催 神戸国際支縁機構
問 岩村 ☎070-5045-7127

集い

青年による聖年の徒歩巡礼◆六甲教会~たかとり教会

対象 18歳~35歳(洗礼の有無・教派は問いません)
日時・行程 5/3(土)10:00 六甲教会集合→12:00 神戸

中央教会(昼食)→16:00 たかとり教会(ミサ)→17:00 BBQ(自由参加)※雨天決行
持ち物 昼食・飲み物・雨具 歩きやすい服装で
主催 神戸地区司祭有志
参加費 ¥1,000
申込 QRコードより
問 六甲教会 渡辺徹郎神父 ☎078-851-2846
✉renraku@rokko-catholic.jp

マリッジエンカウンターウィークエンド◆婚姻の秘跡を生き生きと生きる

対象 夫婦・司祭・修道者
日時 5/3(土)~5/5(月・祝)
場所 聖ヨハネ病院修道会(神戸)
参加費 自由献金
申込・問 平尾 ☎078-991-5220

能登半島支援◆桂春蝶独演会&マルシェ

日時 5/10(土)14:00~ (マルシェは11:00~)
場所 芦屋教会
参加費 無料・席上献金あり
主催 能登半島に笑いと笑顔をプロジェクト
問 芦屋教会 ☎0797-22-3982

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15~35歳までの若者の集い

日時 第4(土)14:00~16:00
場所 大阪YCWセンター(またはZoom)
問 レネ神父・水元 ☎072-232-8063
✉osakaycw@gmail.com
HP http://www.ycw.jp/

要約筆記グループ“エフファク!”練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア

日時 第2(水)10:00~12:00
場所 教区本部事務局

1階会議室
問 障がい者委員会
✉dis@ostk.catholic.jp

精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い

守秘義務と分かち合い いつ来てもウェルカム 当日キャンセルOK
日時 第3(日)14:00~16:00
場所 姫里集会所
参加費 無料(12月のクリスマス会だけ実費)
申込 吉川まで
問 ☎078-583-2525
✉yassan.yoshikawa@nifty.com

力障害大阪フレンドリー◆点字部の勉強会

対象 パソコン点字に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方
日時 第2(火) 13:30~15:00
場所 姫里集会所(奇数月) 北須磨教会(偶数月)
申込 笠松まで
問 ☎090-5661-4324
☎072-722-0271
✉kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

聴覚障がい者ボランティア会◆聖書の手話表現の学び・教区活動の手話通訳者派遣

対象 手話に興味をお持ちの方 ※手話講習会ではありません
日時 第1・3・5(水) 10:00~14:00
場所 姫里集会所
問 障がい者委員会
✉dis@ostk.catholic.jp

マザー・テレサ共労者の集い◆大阪梅田教会

日時 第1(土)14:00
問 高塚 ☎06-6921-0693

◆加古川教会

日時 第3(火)13:30~15:00
問 森田 ☎079-426-5704

情報の掲載には申し込みが必要です

- 掲載無料
- 申し込みは、掲載希望月2カ月前の末日まで(厳守)
- 下記連絡先までご連絡ください。記入用紙をお送りします
- 掲載の継続をご希望の場合はお知らせください
- 締切日を過ぎての申し込みや教区報にふさわしくないと判断されたものは掲載できません
- スペースの関係上、掲載できない場合はご連絡します
- 編集(加筆・修正)させていただくこともございます

【連絡先】 〒540-0004 大阪市中央区玉造2-24-22 カトリック大阪高松教区広報委員会 ☎06-6946-3223(直) ☎06-6946-3224(直) ✉kyokuh@ostk.catholic.jp

【新宮教会】
▽9時
【串本教会】
▽11時半
※変更は(4月20日)~(10月26日)まで。

案内・報告 主日ミサ時間変更

行事等日程	
4月	
3 木	〔常任司教委員会〕
13 日	受難の主日(枝の主日)
16 水	11時 聖香油ミサ 司祭経年祝(カテドラル)
17 木	聖木曜日(主の晩さん)
18 金	聖金曜日・主の受難(大斎・小斎) 聖地のための献金
19 土	聖土曜日
20 日	復活の主日
23 水	10時半 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会
27 日	神のいつくしみの主日
5月	
8 木	〔常任司教委員会〕
11 日	世界召命祈願の日
21 水	10時半 甲山墓参

4月司教予定

「行事等日程」以外

- ・4/6 夙川教会黙想会(†M)
- ・4/12 万博開幕式(†M)
- ・4/17~20 玉造教会(†M)
- ・4/17 観音寺教会(†S)
- ・4/18 伊予三島教会(†S)
- ・4/19 丸亀教会(†S)
- ・4/20 桜町教会(†S)
- ・4/28~29 校長・理事長・総長・管区長のつどい(†S)

†M=前田万葉大司教
†S=酒井俊弘補佐司教

(阪神地区) 櫻井英治

「未来への献金」
芦屋教会は、大規模修繕工事を終え、10年かけて借入金返済のため、信徒の皆さま、教会を訪れる方々に献金をお願いをしています。2023年度から年386万円の返済が始まり、主にお助けいただき、2年連続、年間目標額に達しています。借入金を返済して終わりではなく、未来のため、次の世代にバトンを渡すため、持続可能な、決して無理のない、今より少しだけ継続して献金をいただくよう呼びかけています。芦屋教会へ巡礼に来られる際には、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

はばたき

【お詫び】

3月号1面 教区召命の日(誤)11:00→(正)講演10:30/分かち合い13:00/ミサ14:00
3月号5面「バチカンニュース」カラヴァッジョ作「キリストの埋葬」を掲載すべきところ、誤ってラファエロ作「キリストの埋葬」を掲載しておりました。(ホームページは差替え済)
お詫びし訂正いたします。
(広報委員会)